



未来を夢見て

2020/10/9 No. 41

金木犀（きんもくせい）の秋最中

824のストーリー

どこからともなく金木犀のほのかな甘い香りを感じる季節になりました。

学校付近の交差点の金木犀の花も満開になり、いよいよ秋本番を感じる季節になりました。

10月9日（金）、今日は子供たちに先生方から「あゆみ（通信票）」を渡していただく日です。先週から今週にかけて、校長室には連日、通信票が運ばれてきます。当たり前ですが、その数は児童数分になります。

私もかつて担任をした経験があるので、ここまで作成するのに担任の先生方がどんなに時間を掛けて通信票を作成してきたかがわかります。

5時間目、1年生の教室では、担任の先生方が一人一人に頑張ったことを伝えながら通信票を丁寧に渡して下さっていました。今日一日、どの学級でも同じような光景が見られ、その都度先生方の子供たちに対する温かい思いが伝わってきました。

これまでたくさんの時間を掛けて作成された通信票です。もちろん間違いなどあるわけがありませんが、それでも押印する以上、私も真剣勝負で読ませていただきました。

ただ読むだけでは申し分けないので、お返しするときには、先生方お一人お一人に校長室においていただき、先生方に作っていただいた通信票を読ませていただいて感じたことを伝えさせていただきました。

昨日は、志摩先生（もみじ学級担任）とお話をさせていただき、話の中身は、子供たちのことからそもそも評価とは何か、通信票の目的はどこにあるのかなど、本質的な話題に転換していきます。

昨日は突然の危険物騒ぎ（爆破予告）でしたが、大和町教育委員会との連携で、子供たちの避難からその後の行動まで大きな混乱なく対応することができました。非常時は普段の生活様式が何よりの財産です。

話をしっかり聞ける子供に育てていること、短い言葉できちんと集団を統率できる担任であること……。給食のダムウォーターが停止したときにも感じたのですが、小野小学校の先生方と子供たちは、状況判断能力に長けていて、規律ある集団行動ができることが大きな財産です。

年度の途中から、高橋智美先生や角岡ヒロコ先生に入っただき、手厚く子供たちを見守っていただきました。また、カウンセラーの鈴木先生や、スクールソーシャルワーカーの小嶋先生にも子供たちの様子を温かく見守っていただいたこと、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

季節はこれから一日一日秋の深まりを感じる季節になりそうです。令和2年度の前半、お疲れ様でした。来週からの後半も子供たちのために一致団結、お力を貸してください。



（文責：手代木）